Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

3518
2
13

門 13
3518
2

昭和二十九年
七月九日
購求

風流孫子集　二之巻

東西く

道行　ちいさかり延しと母親の敵討

十九年来の敵ら尤ちとなる

身のとゝ吐ーハらるとやう悪や

やうけ内流ぐ結ぶる事

二、中　奉公の忠勤うり百石の墨付
佛事をいんで地獄うりを食た
のんで極楽はおせとのぞむ
五徳の計書えをもて仕事
二、切　不審千万乃を食の醤油
かうとく編で初対面〳〵病
氣のかゝ抱てをとこをけで抱
とうまをあ刀振治さんゆゑ事

一　思ひふぐ〳〵延引を母親の歌討

藤氏の竈こゝに炊夕の煙雲〳〵百姓の門よハ東西の業こゝげ〳〵。仁
政の基〳〵紀氏代よりをとこの思ふ風甲賀郡泊川とゝ邑に原車
人といそ。孫の拾郎小先生と云る者ハ。兄弟の姫小姉と云も。
ひ妹とお姉こゝひゝるゝ。姉ハ少〳〵いつく〳〵ろひまもち。姉ちをを
出せ〳〵実ゝなるまで。妹と云て家母をとゝんゝもゝ。不孝
乃び。世事のけ〳〵先もひつ〳〵して。三年以前妹年の初冬中〳〵
ふ年とゝゝきけるゝ。妹年の初冬中〳〵ゝ。義母の家ハ初冬〳〵。
山形こゝ家こゝ孫ゝて元禄勇の極ゝ。ハ生殺人勇ゝ〳〵
ん弱ゝて中〳〵極氏ゝゝ孫ゝ。今程全てせんかさ
ゝ〳〵ゝ山変たゝり飢きとゝ。ゝ〳〵ゝ。ハ一〳〵ゝ。ゝ拾乃家

名と輝りんのと。部ふ孝ぶの親ふるぬ武士乃のことんけ。
極くく侍形氣ふ。英ふ子出とをにくと。嫁のおそふとひ
そんでふりく父年人。妹ふ妻ゥ国とぬをんでかくひりをぬ
とぢめるふりるをにんるにおそて。お孝和義由ふりるふぢ
かりし。ぬ家の娘にてりてつにる敬嫁ゥ叶ーにくをけ函
りり函とまぶをつーぢ父ハねぜび母ハん彩の事にりしやん函関
ゥふにゆれせまーが。をふ藤ゥのにりタ書様ゥまれま
れ代ん人の嫁をふわーまーとぢくの孝浜人一人。りの彩の
刀我をえんあ。かけゥ由ひるに性人やをひん母ゥ小と孝
らまーと。ナ八年以前お正月八日只一刀小切ろーを湯ゥりゆき
ぐをまをを。ゆにてを切ゥりあせをーゥ則ーをを。今の父年人
屋ゥ由ぐをの孝ハをの孝ハをの孝ハ

江戸
甲州
あんこの
父のとびわ
あやまり
ごぶさたして

姉くるけいの中くハらくぐとぷろくさんきとりひいたのしぐぱをて
ゆくぐきたつくのたまりしぷりとぐぱらふぐぐりまてむりとくくら
もくりるるるまぷりまで書父ぱひくゆりの編屋新仁りてゆぐ
くみぐくした氣愛とりくくふ行文新由が入ゆ根りのくお屋くん
くくふくしぷくくるるめるのまぱおくしりりりくゆくくゆくふげくも
まりるまぷぷ二人くも一ふふ新面でくきりぱぷくくりりぐくりるる
くんぷりくくるりぐぐりくくぷくとりりぷりりりくくくくくくくく
で原ぷぷ。勤義由ふまふふりくりくくくくくくくくくくくくくくく
りくくくくりりり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

うごかしはじめんくとはなをうつけんてとびたてのねちまち未
と。ぢりく。あをとおしをもゆらくく。深山幽谷の戸とをしたゝ。
玉とけふげの傷さゝ多くく。方非ふつて。身をたへとぢんの
武蔵とうひを。藤金へ。ひをびふゆくらんどりつゝちうのみんぞハ
横刀のまるゝぶんくまるゝゝ。ふいゝ今の傷さとんくゝ。
金ハ行くゝ侍ゝの深ふ百枝んゝ。ゆらくくゝ。横梅よ
ゆくゝふと。あをゝ中ハその面。横の下ゝる指藤光明ゝ。あてゆて
かくふめゝしくゝゝくゝ。とはくゝ。ハ名わかゝ。あてゆくゝ
の山腹ゝ。多くゝ。ロ見のでくく。おくゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。見ふゝゝ
て百かくへ下ゝまんくの手ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。
ゝ。あつく。深ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。
ゝ百ゝの長付。コハ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。

殘ゝて。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ

天の時ハ地の利ふたつゝでゝ地の利ハ人の和ふたつゝでゝハ人ハ
毛髪人ハ孩のナリにあらず立支ぶ〻まゝ〻こと〻ぶにて抑〻
感ん〻ハ志〻くゝるゝもゝ。まぐ〻そのゝと約無ハ今ふたつゝを地〻くの
法もかゝ佛も殘ゞ〻ひうゝくいてゝこと〻時ハまゝてゞるけゞバ人ゝ
界へけまゝて。かんの書生回往とんゝ法ふ油と付て結ふ〻ゝ
月その外ハ一年中ニ結まゝてふで付て住舞。庶ゝ書簡もろ〻く。
江戸三界ゝけまゝる高人ふゝきゝなて議慶の庶〻ゝふゝめゝて。
自中ゝ法せゞやゝ〻くゝそゝきゝとのゞゝく用ゝゝゝゝ〻ゝゝ
耳のそゝゝゝ今と掘〻〻〻〻ゝゝ盗人のゝゞゝゝ事の勇ゝ
和ゞ移〻まゝゞ。隠〻〻〻ゝ〻ゝゝけゝゝゝふ付て ハゝゝ
悔ゞ。ゝ表の〻ゝゝゝゝゝふゝゝゝゝ。ゝ代ゝゝゝ〻ゝゝゝ
ものゝ〻〻ゝゝゝゝ。内ゝゝゝゝゝゝゝゝ。安ゝゝゝゝゝゝ

ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ふしぎつくり滝でござりゐるとぞりゐるとぞ
ありてもござりゐるとぞ
ありてもござりゐるとぞ
一日ふナ文前ぶのとゝけふぜとゝる月うゝ百姓の人ゝとゝ
ハかーの病のおこるとゝもるとりそつかるものゝ是でゐるとゝふゝ
病ゝはゝるとゝまあくゝぞりゝとちがゝるとゝ。
どゝゝ沢山ふゝゝゝ乃ゝ沢山ゝ食ハ百姓色ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ

きりしとけ合ぶ百姓ふ陸ふ多浦のきーと出てしふ手ゆと
ゆ。侍のいとまーいとふ。すふちりにきぶ人を百姓ふ
て侍ハ行方をまでとまりふの西人のいてゆりにく。天しむ
けげんけるらしぶ天ゑ地えくを幸いつかれるく高きしハ
いのぶぐ。西愛湖伏のうんも因あーぶ人をハをくふ。南山ゆくを
えとてきぶんのすーゆふふふつる示ぶ幸くを人の姫ーんをて
仏業の百ふ一も果さんをのしぶひをて中西西へ別れふらて
といふふ。あ西ハ別れいてる身ふ。乃ばふ行ハいーぶ。をを
ふいてふ。れの幸をふくぶをてふ廿年宮ゆをはををふめ
乞食ーく若ーを分の西伏ニテくを因ふ。ーー情燈の内ふぐ
いてふ手でハふふふ。コーく。とりて。病疾ゆがふはふをふく
ふーを幸切まて見ふあ南ふをこ宮をひのふーふ姫をいふを

二ふとのまーて。ふびりーくれらぐて。兵のふ稼とりてふて。汐伸ふ
服の伸ふをふふりふハカとふふ。ーふふてをりーー侍くの泥棒をふ
ものハをさふを。を食ふ伸ふをけぐせぐも。ふふく食椀一つ丸ふ同く
といふ宮丸役の伸ふふハ。ーー伸丸川万素ふ行ーーををいふひをふ
ををふりふ。ーー行ふ弱もふ行ゆがまづ食椀と情中をふふふ。
いふのふふハふふふ侍ふふのめをとふをふふふのめ丸ふ
をををーげふ。ーあいて切伸きハふをふをもふをふのめ丸合せまけど
ふくきぶ。ぬふもいをどふくを言かふる美屋時ゆ行のふ拍ふふ。動伸ゆふ
情中ふふ。ーあの景伸丸ふふふ。ふのふーふをふけゆぐせぶををふれ
てふくーをんふ。ーくふをふてふて。退ふけゆく

二ふ夫終